

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



一人芝居で新春の初笑い

～阿仁公民館新春公開講座～

阿仁公民館新春公開講座が1月19日に行われ、能代ミュージカルキッズ代表の今立善子さんが一人芝居と「明るく生きること」と題して講演を行いました。

今立さんは元気なおばあさんというキャラクターの「善ババ」として、手押し車でほっかぶりをした姿で登場。塾通いに追い立てられる子どもを皮肉ったり、嫁・姑の価値観の違いをユーモアたっぷりに話し、会場は笑いの渦に包まれました。

この後「明るく生きること」と題して講演し、いじめを受けたことや、勤務していた会社の倒産、14年に



▲ 観客の笑いを誘った一人芝居

及ぶ父の介護などを紹介しながら、それでも周囲の人たちから元気をもらい、前向きに明るく生きてきた経験をもとに「苦しい時にこそ笑うことや助け合うことが大切だ」と語りました。

地上デジタル放送視聴のための低所得世帯への支援について

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できない低所得の世帯に対して、支援を行っています。対象となる世帯や支援内容は次のとおりです。

(1) NHK放送受信料が全額免除となっている世帯への支援

[支援の対象] まだ地上デジタル放送に対応できず、①生活保護などの公的扶助を受けている世帯、②障がい者がいる世帯で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯、③社会福祉施設に入所している世帯のいずれかに該当し、NHK放送受信料が全額免除の世帯が対象です。

[支援の内容] 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付し、対象世帯を訪問してチューナーの設置を行います。アンテナ改修等が必要な場合は無償で工事を行います。
※なお、既に申請している方でも年度内に工事が終了しないと取り消される場合がありますのでご注意ください。

(2) 市町村民税非課税世帯への支援

[支援の対象] まだ地上デジタル放送に対応できず、「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」が対象です。(※NHKとの放送受信契約が必要です。)

[支援の内容] 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。(チューナーの訪問設置、アンテナ改修等はいりません。)

(3) 申込方法等について

申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して総務省 地デジチューナー支援実施センターへ送付してください。申込書は、インターネット・電話等で総務省 地デジチューナー支援実施センターからお取り寄せください。身近な公共機関やNHK放送局に置いてある場合もあります。

(問い合わせ先)

[支援制度について] 総務省 地デジチューナー支援実施センター NHK放送受信料全額免除世帯への支援：☎0570-033840、市町村民税非課税世帯への支援：☎0570-023724

[NHKの放送受信契約、放送受信料免除について]：NHK ふれあいセンター NHK放送受信料全額免除について：☎0570-000588、NHKの放送受信契約について：☎0570-077077

中央公民館

「いきいきシニア講座」

◎問合せ ☎62-1130

中央公民館「グッドライフ講座」では、中高年者に「元気と安心を与える目的として、やさしい携帯電話教室を開催します。

この講座は、でんでん宮城いきいきネットワークの支援により、携帯電話(らくらくホン)を使用して初歩的な操作と災害伝言板の検索方法について学びます。

また、安心・安全講座として『すぐやろう！後悔しない「我が家の防災」』も同時に開催します。多数ご参加下さい。

日時 2月10日(木)

午後1時30分～3時40分

場所 中央公民館

講師 NPO法人「でんでん宮城いきいきネットワーク」

内容 ○優しい携帯電話教室「災害伝言版の活用法」

○すぐやろう！後悔しない「我が家の防災」

定員 30人～50人

参加費 無料

申込期限 2月7日(月)



▲ 新聞ストッカー

森吉公民館公開講座

◎問合せ ☎72-3259

『エコクラフト』

新聞ストッカー作り

ひもをセットして簡単に新聞を縛ることができるとなる新聞ストッカーを作ります。

日時 3月1日(火)・2日(水)

午前10時～午後3時

場所 森吉コミュニティセンター

講師 菅原知明さん

定員 15人(先着順)

材料費 1000円

持ち物 筆記用具、ボンド、はさみ、定規、洗濯バサミ(20個)、昼食
申込期限 2月21日(月)

ふるさとの文化財

北秋田市指定記念物(史跡)

○「青山家の墓石」

◇所在地・阿仁町銀山下新町44
◇管理者・佐藤昭春(善導寺)

向山銀山の青山家の墓石は、瀬戸内海原産の御影石で、善導寺の境内にあります。

青山家は江州(近江の国、今の滋賀県)の商人で、承応元(1652)年向山銀山で商売を始め、大山師(鉱脈の発見の職業とする人)として鉱山の請負や企業者として活躍し、多くの業績を残していました。

太平洋戦争時に失くなった善導寺の梵鐘等は青山家の寄進によるものと伝えられています。墓石には、享保19(1734)年、貞享3(1686)年などの文字が彫られており、青山家代々の隆盛をしのばせます



▲ 青山家の墓石

○「高岡八右衛門の墓」

◇所在地・阿仁町銀山下新町53
◇管理者・今井典夫(善勝寺)



▲ 高岡八右衛門の墓

高岡八右衛門は、慶長8(1603)年大阪に生まれ、大阪の富商北国屋吉右衛門の手代(商店の使用人)で、番頭と丁稚のやや中間の職)となりました。30歳の時、阿仁町水沢に鉱山を発見。その後鉱物を採掘し製錬する事業に励み、阿仁鉱山の名を天下に挙げた偉人です。

墓石には、天和4(1684)年8月15日と刻まれています。白狐の化身である別れた女房のお告げによって銅山を発見したという「狐女房」の伝説も残されています。

▽平成4年3月31日指定

▽資料/「説明板」阿仁の文化財その1▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二